

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
76

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



- 小出陽子 (Yoko KOIDE)
- 1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO; アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を開始。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。
- JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

バイヨン中学校の菜園ビジネス

日本では考えられないことかもしれませんが、国から支給される公立学校の運営費が限定的である中、カンボジアで魅力的な学校をつくるには、学校自身が自立に近づくための何らかの手段を持たなければなりませんと感じています。

そこで、地域の魅力を紹介するツアー（一年前の当コラムで紹介）に引き続き、バイヨン中学校で始めたのが有機野菜栽培です。まずは日本の活動助成金を申請・受諾して菜園道具を揃え、カンボジア人農業従事者の指導のもと、生徒全員のマンパワーで校庭の片隅を防牛柵で囲い、土を耕し、畝をつくり、直射日光をやわらげるための網を被せ、畑をつくりました。毎日の水やり等野菜の世話は休み時間に当番の生徒が行います。こうして開始2か月後、空心菜、キュウリ、なす、トマト…と、色・形・大きさとも市場で売られているものと比べても遜色のない新鮮野菜の収穫が始まりました。

これらの野菜は、私がシエムリアップで

MoiMoi Life in Siem Reap Farm Business at Bayon Junior High School

As governmental grants to public schools are limited in Cambodia, schools should have own measures to build a self-sustaining system and keep themselves in a good condition. To self-sustain, our school has started an organic garden. Prepared necessary tools with Japanese subsidy and received instructions from local farmers, students worked together to create a suitable vegetable garden. Students water the vegetable plants during recess time.

“Café Moi Moi”, my restaurant in Siem Reap purchases these vegetables at the market price. For instance, the price of cucumber through a middle person is only 1000 riel/kg whereas direct sell to the restaurant is 3000 riel/kg. Considering that organic cucumbers for foreigners are 5000 riel/kg in the city, directly selling to those consumers is profitable and a good way to raise additional funds for the school, thus make everyone happy.

経営するレストラン「カフェモイモイ」で、これまで市場で購入していた価格ですべて買い取ることになりました。たとえばキュウリの場合、市場の仲買人に購入してもらったとしたり1000リエルキロにしかありませんが、カフェモイモイの場合は3000リエルキロになります。さらに市内の外国人向けの有機栽培キュウリは約5000リエルキロで販売されていますので、中間業者を通さずに直接消費者に販売すればオーガニックという付加価値もついて、バイヨン中学校だけでなく皆が Happyになれる道が開けると確信しました。

この菜園事業によって学校運営費をねん出できるようになるまでは、まだ時間がかかりそうですが、小さいながらも出来上がりつつある生産ー販売ー消費サイクルの均衡をうまく保ちながら、またこの試み自体を学校教育の場でも生かしながら、地道に中学校の菜園ビジネスを続けていきたいと思います。